

2

センター
活用事例

リニューアル



伝統を誇りに 時代を刻む

有限会社角館きがた

〒014-0341 秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷184-13 TEL.0187-55-4329 FAX.0187-55-4327
<http://www.kakunodate.com/>



「今、何ができるのか
を考え続けたい」と
佐藤さん

型と形のものづくり

砂型鋳造で使用する木型制作を主な事業として1972年に創業した有限会社角館きがたでは、彫り物の看板や和菓子の木型、樺細工の仕込み型から角館のお祭りの人形まで、創業者の佐藤正美さんと2代目の佐藤励さんが、型と形の多様なものづくりを請け負う。工業製品に加え、立体造形の技術を学び彫刻家でもある励さんがモニュメントや彫刻などを手掛けるようになり、2017年の代表交代をきっかけに、活性化センターの専門家派遣を利用してホームページをリニューアルした。新設したオンラインショップ「祭雅(さいが)」では、角館曳山キットといったユニークなアイテムも販売している。「インターネットの一般普及にさきがけて父がホームページを作ったのですが、会社の紹介よりも角館の観光情報がメインだったので、専門家の方と方向性と内容を整理しました。こんなものを作れますか?と気軽に問い合わせさせていただくように、チャット形式の問い合わせフォームも設けました」。

自己を磨き、この町で生きる

角館きがたでは親子二代にわたり、人形師として角館のお祭りに深く関わっているが、今年初めて、祭りの中止が決まった特別な夏を迎え、覚悟を持って新たな挑戦を始めた。

「例年夏の間中、お祭りの人形を作っています。中止が決まった時は職業を奪われたような気持ちで、自分は何をすべきなのか、何を残せるのかと、気持ちの整理をしながら考えました」。

自問自答を繰り返し、励さんは奉納額の製作を決意。新たに漆の技術を学びはじめ、技術の研鑽に励む。また、あらためて家業の歴史を掘り起こしながら、ブランディングにも力を注ぐ。

「自分のルーツを見つめ直す過程で、いま取り組んでいることも導かれてやっていることなのかもしれない、と腑に落ちました。変化をプラスに捉えながら、柔軟に“角館きがた”のものづくりを続けていきたいですね」。

活用事例

専門家の派遣

企業が抱える経営課題に対し、センターに登録されている各種分野の専門家を派遣し、診断・助言を行います。

お問い合わせ 総合相談課 TEL.018-860-5610